

要件事項	<p>【海上/航空】</p> <p>通関・収納</p> <p>7N 改変 26-03_「汎用申請手数料等納付申請(RPC)」業務における入力額チェック機能の変更</p>
機能概要	<p><変更前仕様></p> <p>「汎用申請手数料等納付申請(RPC)」業務において、入力された汎用申請受理番号が国際観光旅客税の納付手続きにかかる受理番号である場合、入力された税額に対して固定条件による入力チェックを行っている。</p> <p><変更後仕様></p> <p>RPC 業務の国際観光旅客税の納付金額のチェックについて、従来の固定条件によるチェック条件を見直し、申請内容、適用時期に応じたチェック処理を行えるように変更する。</p> <p>本変更においては、税額チェックを目的とした新規テーブル「国際観光旅客税金額管理 DB」を追加し、RPC 業務における国際観光旅客税のチェック処理で利用する。</p> <p>なお、新規 DB によるチェックの開始を、政令変更日付管理で設定した適用開始日による制御を可能とし、適用開始以前については従来の入力チェックを行えるようにする。</p>

1. 変更内容

(1) オンライン業務の変更

(A) 「汎用申請手数料等納付申請(RPC)」業務の変更

「汎用申請(HYS)」業務または「汎用申請変更(HYE)」業務にて申請された国際観光旅客税に関する汎用申請受理番号の申請種別に基づき、「汎用申請手数料等納付申請(RPC)」業務にて実施されるチェック処理を以下の通り変更する。

なお、本改変では HYS 業務仕様書の記載に基づき、種別となる個人事業主は個人、運送事業者は事業者と記載を統一する。

(a) 税額チェック処理

RPC 業務において、入力された汎用申請受理番号が国際観光旅客税の納付手続きにかかる受理番号である場合、入力された税額に対するチェックを変更する。

① 審査終了業務識別の特定

汎用申請受理番号の申請種別より、汎用申請手続種別に登録されている「審査終了業務識別」を特定する。汎用申請手続種別の登録内容では以下の通りとなる。

表 1. 汎用申請手続種別の登録内容

手続種別 コード	手続名称	審査終了業務識別
K50	国際観光旅客税申請(個人)(直納)	A : 汎用申請手数料等納付申請(RPC) : 国際観光旅客税申請(個人)(直納)
K51	国際観光旅客税申請(個人)(MPN)	B : 汎用申請手数料等納付申請(RPC) : 国際観光旅客税申請(個人)(MPN)
K52	国際観光旅客税申請(事業者)(直納)	C : 汎用申請手数料等納付申請(RPC) : 国際観光旅客税申請(事業者)(直納)
K53	国際観光旅客税申請(事業者)(MPN)	D : 汎用申請手数料等納付申請(RPC) : 国際観光旅客税申請(事業者)(MPN)

HYS 業務または HYE 業務の「記事」欄に入力された日付が国際観光旅客税金額管理内に該当する期間が存在しない場合及び計算用金額に「0」が設定されていた場合、以下の新規エラーを出力する。

表 2. RPC 業務における新規エラー内容

エラーコード	エラー内容	処置
L0013	国際観光旅客税金額管理 DB で論理矛盾が発生した。	NACCS センターへ連絡する。

※参考（HYS 業務の「記事」欄の入力条件）

(1) 税関への記事を入力

(2) 国際観光旅客税の納付手続きにかかる申請手続種別である場合は、以下の年月日または年月を入力

① 申請手続種別の納税者の種類が個人の場合は、乗船・搭乗する年月日を「*」(半角)で囲って半角数字で入力

(例)*yyyyMMdd*

② 申請手続種別の納税者の種類が事業者の場合は、国際観光旅客等の出国の日の属する年月または年月日を「*」(半角)で囲って半角数字で入力

(例)*yyyyMM*

(例)*yyyyMMdd*

(*) システムでは最初に存在する「*」から次の存在する「*」までの間の入力値を基準となる日付とする

2. 変更対象業務

(1) オンライン業務

① 「汎用申請手数料等納付申請(RPC/RPCOW)」業務

3. 利用者影響

なし

4. リリース予定日/サービス開始予定日

(1) AP、端末資材

AP：2026年5月17日(日) 保守時間帯

端末資材：2026年5月17日(日) 04:00